ACE Hokkaido 教育とコンピュータ利用研究会北海道支部
NEWS LETTER Vol.4.6.1997 ACE北海道

６月度研究会 Report

千歳市マルチメディア情報センター（CMMIC）
文責：荒島、吉田

ACE北海道定例の研究会を6月28日（土）、千歳市マルチメディア情報センター（CMMIC）にお邪魔して、千歳メディアキッズの活動を見学させていただくとともに、千歳の先生方との交流を行いました。

メディアキッズ達。HOTARU4.0って簡単じゃん。

メディアキッズの方は千歳の近藤先生から後々ご報告いただくとして、午後の部の研究会のレポートをさせていただきます。

１．COTF インターネット接続実験（吉田）

COTF とのCU-SeeMe による通信実験の様子を報告。RealVideo も併用した。画像は圧倒的にRealVideoの方がよいようである。６月１９日にIIJで行われた様子を画像データとともに紹介。画像提供は野口氏（道都短大）と桜庭氏（道社会教育総合センター）による。COTF の側で CU-SeeMe のリフレクタを設定してくれた。NCF の 21 世紀教育ワーキンググループの中に COTF プロジェクトが独立して立ち上がった。秋に予定されているテレビ会議も成功させよう。この実験で OCN は Stream 系の通信に弱い？という側面が露呈した。
未来の教室（classroom of the future）とは，NASA（アメリカ航空宇宙局）より研究委託ならびに研究費用を受け行われているプロジェクト。

２．NCF モバイルラリーの報告（武田）

ACE 最強チームは優勝したので王者 ACE 最強チームと改名しました。朝起きて各チーム毎どこかに集まる。掲示板に書き込む。各チーム毎のホームページがありそこに各地点での報告を書き込む。本部からの指示を受けながら街の中をラリーしていく。このシステムは桜庭氏（道社会教育総合センター）が作成した。ほとんどのチームがPHSを使って通信する。中には街の中のグレ電を探してアクセスしているところもある。一番の問題は電源の確保である。そこで活躍したのが車積のカーバッテリーである。我々の勝利の原因はWebBoardなのでHTMLのタグが使えることに気付いたことである。見澤先生@札幌温泉がなぜかトランペットを持ってきていたのでノートパソコンで録音し画像とともにアップした。これが勝因だ！

３．マルチメディアモバイルキャンプのご案内

（塩谷@ ACE 焼き肉隊長）

７月の５日に支笏湖に試験電波を飛ばすことが許可になったのでいよいよ本格的な実施が可能となった。NTT DoCoMoが被災地で使用する“ ドコモカー ”も使用，そこを基地局として実施する。
外に出ての遊びとコンピュータの接点を探る。７月１２日、１３日に支笏湖で実施，カヌーやデジタル押し花などとともに，その様子をWebにアップしていく。水中から電話をかけてほしいという DoCoMo からの要望にも応える予定（by 塩谷）。夜は羊，牛の股１本，鶏の塩釜焼を予定。一人当りホットプレート１枚くらいは食べれる。多数の参加をお願いする。参加料は一人2500円だが 2000 円でできるであろう。
９月にも滝野公園を舞台にモバイルオリエンテーリングをやろうという話も出ている。

星空のマルチメディア講演会，マルチメディア映画会などもこれから予定している。

４．こねっとプラン全国の交流

８月５日（火）にネットワークプラザを札幌会場にし，全国のこねっと会議をもつ。
札幌会場からは標茶の村田先生、岩教大の村端先生が講演の予定。サマースクールの最中である稚内北星短大とフェニックスで結ぶ予定である。

５．POEM'97 のご案内

今年の会場は大阪アジア太平洋トレードセンター，８月２日・３日に開催する。
今回の POEM はプレゼンテーションコンテスト，称して「工房対決！」がメインである。これはソフトやマルチメディアプレゼンテーションデータなどの発表が予定されている。
東北支部はバーチャル美術館を予定している。北海道支部は，まだ秘密だが，バーチャル科学実験室ゼンマイ・ハグルマ・プロジェクトである。古い 286 マシーンにタイヤをつけて動かすんだい！
ACE北海道はインターネットだけでなく，地に足をつけた活動を行うのだ。ロボットを作ろうというのだが…どこが地に足がついた活動なんだろう？

６．デジタル学校新聞プロジェクト

学校新聞をコンピュータを使ってDTPしよう！というシンプル

な企画です。さらにアクロバットを使うと即Webになる。WebしたものをLinkする。学校新聞のリンクサイトを作ろうという試みです。取材もデジタルカメラを使って行う。８月３～５日全国の学校新聞指導者講習会が札幌で開催される。１０月には生徒を対象とした講習会を開催する予定である。

７．千歳デジタルキッズ（山田）

インターネットにつながっている学校は千歳には青葉中しかない，NTTの協力で富岡中には入ったらしい。（未確認情報）学校にないのならあるところに千歳の子供を集めてやろうと思った。参加費は無料である。１回目には１６人の子供が集まった。CMMICと飯豊さんが協力してくれた。第２，第４土に教員として何かできないかと思ったのも動機の一つである。今回はHotalを使ってHomePageを水越さんやDBSoftの高橋さんも講師として参加してくれた。なんとか軌道に乗ってきたようだ。バーチャル雪まつりについても現在構想を立てているところである。

ここで，近藤先生がACE参加表明し拍手で迎えられた。

参加者近況報告

◆飯豊さん

就職活動の真っ最中，今回はデジタルキッズのお手伝いもできた。

バーチャル雪まつり'98もロゴが集まった。'97の小冊子を作ってそれを各学校に配って広めていく手段にしていこうと思う。経営情報センターもダイヤルアップできる環境を使ったので，何かあったときの手助けができると思う。

◆マルチネットの会　白戸さん

CMMICを使ってホームページの作成などの講習会を普段行っている。自分でも夏休み中に作るべく構想を立てている。

◆ CMMIC 竹内所長

千歳では３０日に市役所に専用線が入る。これは市民開放用である。１日から始める。64kの専用線なのでCMMICと同じ速度が期待できる。いたずら防止で本体だけは隠す。どれくらいの人が活用するのか未知数である。

CMMICのMLも開設する。年齢，職業，所在地を問わず参加できるものである。ACEの活動には今までも注目していた。CMMICのMLにも参加してほしい。

◆半沢先生

ノートパソコンがまた壊れた。祝梅小にはまた回線がこなかった。これでもうだめだろう。でもこれでこれからは好きなことができるのだなと思う。修学旅行中はデータを集めた。一晩でWebができる。人間はやろうと思えばやれるもんだ！大阪にいくぞ！

大野くん。打鍵は早いし、AOLのアカウントも持ってるし。

◆青葉中マルチメディア部部長・大野くん

インターネット会議に興味を持ったので今度呼んでほしい。修学旅行のデータを集めてきたのでホームページに載せるので見てメールをください。

◆近藤先生

パソコンが壊れたのが気掛かり。校内ではマルチメディア担当で，夏からはがんばっていきたい。

◆青柳事務局長

ここに来るとCMMICのオープニングとOROPPAS制作の合宿が思い出される。最近の利用状況が気になるところだ。ACEもいろいろなところにいって研究会をしたい。今日の小中生をみると子供の能力も上がってきているような気がする。マルチメディア部もあちらこちらにある。それぞれ活発な活動が見られるのでACEの未来も明るいかなと思う。

◆塩谷さん

パソコン塾を担当している。千歳にはまだないのでこれからやりたい人は連絡ください。

◆荒島さん

修学旅行のせいでCOTFに参加できなかった。悔しい。修学旅行には重いのでNotePCを持っていかなかった。大湯温泉はPHSがつながらないので持っていかなくて正解！こねっとの大気汚染測定NOxやるよ。これはグローバルだ！市教委のグループ研究委託に受かった。授業をからめてこれでもかこれでもかとインターネットを使った教育実践をアップしていくので，皆さん協力してくださいね。

◆吉田

転勤してきてからイベント目白押し楽しくてしょうがない。私の仕事はなんでしょう？

今年のコンピュータ業界はモバイル一色の観がある。モバイルは移動中でもできるしモジュラーをお借りしなくてもできる。再来週にはMMMキャンプがある。せっかくのアウトドアにコンピュータを持ち込むのはやめようという声もあるだろうが，コンピュータとアウトドアという両極をどう結び付けるかという実験を，遊びを含めてやっていきたい。MMMキャンプにはぜひたくさんの人に参加してほしい。

◆武田支部長

イベントだらけで忙しい。学校の本務以外で忙しい。ついに腰を痛めてしまった。この５年間なにもよいことがなかったが，人のつながりが増えたのが一番よい。これが最大の財産だ！

今年もあちらこちらで研究会と考えていたが，なかなか日程があわない。８月５日にこねっとの講演会。その２日前にはPOEMで大阪。８月末には様似町で研究会を開きたい。

９月に社会教育総合センターで大イベントがある。協力をお願いしたい。それ以外にもいろいろとイベントがあるが，ぜひご家族で参加してほしい。

北海道に人間関係地図プロジェクト～に協力をお願いしたい。これからますますパワーアップして道内一のLink集にするよ！

というわけで、ちょっと少人数の中で行われた6月度研究会ですが、札幌以外での開催は今後も様々な形で進めていきたいと思っております。会終了のあと、新千歳空港ターミナルビルでオホーツク地ビールを飲みながら懇親会を行ったのでした。

「あれ～？清水先生遅いな～」

デジタル学校新聞プロジェクト(3)

「第 14 回高文連新聞部石狩支部研究会報告」

札幌星園高校　高瀬敏樹（takase@netfarm.or.jp）

6月20日・21日の２日間、北海道新聞社７階大会議室にて上記の研究会が開催されました。ACE 北海道からは私と、青柳事務局長、吉田編集長が参加しましたので報告します。

この研究会は高校の新聞局員とその顧問を対象にしたもので、年に数回行われています。今回は札幌とその近郊の１３校が参加しました。参加人数は生徒５８名、顧問２１名と道新から３名でした。内容は、今年の10月に札幌で開催される全道研究大会の話し合いと、新聞作りの練習が中心です。

新聞作りの練習とは、事前に各自が書いてきた記事を持ち寄って、４人～６人のメンバーと共同で１枚の紙面を作っていくというものです。ただし、班は制作手段の希望別に、学校、学年がバラバラになるように分けたメンバーで構成されています。すべて手書きで作る班、ワープロで見出しや記事を印刷したものを、台紙に切り貼りして作る班、すべてパソコンの画面上で作るＤＴＰ班の３つに分かれ、５時間ほどの限られた時間の中での新聞作りがスタートしました。初対面の生徒同士で、色々と議論しながら作るのですから、最初の１，２時間は作業が遅々として進みません。ＤＴＰ班のサポートをしてくれた吉田編集長は、「完成するのは４班中２つだけだな。」と冷静に言い放ったので、非常に不安になったものです。ところが、記事の入力、見出しやレイアウトの

高校生達の熱い新聞づくりを見よ！

構成が決まってからの作業は早かった。約１時間ほどで、瞬く間に紙面が組みあがっていきました。修正が簡単にできるのもデジタル新聞のよいところです。PageMakerを初めて使った生徒達も、青柳事務局長、吉田編集長の強力なサポートで、完成度が高い、すっきりした紙面を完成させました。

ＤＴＰ班に限って言えば、まだ道具として使い込んでいないため、表現力にぎこちなさが見られたり、細部に不備があったりしましたが、生徒達はパソコンの画面上ですべての割り付けが簡単に出来ることに大いに興味を持ったようでした。今回完成した作品を見比べてみると、手書きや、ワープロ新聞の方が高校生らしさに溢れていたなど、色々と課題も明らかになりましたが、試行錯誤しながら紙面を作り上げていけるメリットも大きいことが実証できたのではないかと思います。

休日を返上してまで機材の準備やサポート等で協力してくださった、道新の青柳事務局長、吉田編集長に深く感謝いたします。

最近の取り組みから三題

発寒中学校　荒島　晋

■世界の子どもたちが行う環境（NOx）調査

NTT こねっと・プラン推進協議会事務局が呼びかけた世界規模の環境調査（大気中の窒素酸化物濃度の測定）に，海外の日本人学校から75校，アメリカ・カナダ・フィンランドの現地校から約10校，国内から約1,200校の参加があった模様。ACE北海道支部関係では発寒中，北野台中，新川高校などが参加を予定している。

調査時期は６月下旬～７月上旬，簡単な測定器具（製造元：日本ファインケミカル，提供元：学習研究社）で小学生でも十分にNOxの測定が可能である。なお，この環境調査の概要についてはhttp://www.wnn.or.jp/wnn-s/envi/nox/taiki.htmlでみることができる。参加校はここに直接調査結果をアップするとともに，自校のホームページに結果を公開したもののリンク集も作成する予定。

■市教委グループ研究委託開始

平成９年度の札幌市教育委員会グループ研究委託の情報教育の分野（研究課題：コンピュータ等の教育的利用に関する実践的研究）にACE会員を含むグループの受託が決定した。

この研究グループへのACE会員からの参加は荒島@発寒中，尾崎@北野台中，佐藤真史@福井野中，佐々木@八条中，小谷@幌東中を含めた７人。

この研究グループはインターネットを利用した授業の構築を主に，インターネットを導入した際のガイドライン作りや先進校に学び今日的課題を明らかにしていくことを狙っている。しかも，もちろんモバイル・コンピュータがその手法の中心である。

グループ会議の実施もオフラインと電子メールを使ったメーリングリストでのやりとりを取り入れていく予定である。すでに，村田先生や武田先生からメーリングリスト設定の協力の声があがっている。グループ研究とはいえ，市教委がインターネットに限った教育研究を受託に決めたのは初めてのことであろう。(ただし，予算は紙代くらいしかないのですが…)

すでに，インターネットの教育利用に関してACE会員校の先進的な取り組みがあるので，今後多いにサジェスションを請うことになるであろう。みなさんよろしく。なお，この研究については１月１６日が研究集録のまとめ締切となっている。

■学校用子どもブラウザ“ラインズナビ”

学校へのインターネットの導入が増えている中，有害情報への対処や一般のブラウザソフトの操作性についていろいろな悩みの声が聞こえてくる。そんな中でセコムラインズ株式会社より“ラインズナビ ver.3.0 β（評価版），for Win95/NT”が出された。

ラインズナビの特徴として，

１．子どもでも操作が簡単
２．先生も活用できる
３．教育に役立つページ約400件を登録
４．先生の選んだホームページも組み込める
５．望ましくないページに出会いにくい
６．インターネットへの接続が簡単
７．オフラインでホームページがみれる
８．電話代節約

などがある。

興味のある方はセコムラインズ株式会社北海道支店重田氏（tozensou@ebic.or.jp）まで E-mail を。

夏のイベントのお誘い

事務局長　青柳

お誘いその１ MMM キャンプへのお誘い！

いよいよアウトドアの季節真っ盛り！ACEはNCF（ネットワーク・コミュニティ・フォーラム）と共同で、「マルチメディア・モバイルキャンプ（MMM キャンプ）イン支笏湖」を開催します。「キャンプなのに、なんでパソコンいじらなきゃならんのよ～」とおっしゃるあなた。このキャンプで実現される自然とテクノロジーの調和を見逃したことをずっと後悔することでしょう。まだ、参加は間に合います。土曜日だけの日帰り、夜来て夜明け前に帰っても結構です。とにかく来てほしいのです。待ってるわ！

MMM キャンプ・イン支笏湖
■協力
NTTDoCoMo、日本データーサービス株式会社
■日程・場所
◎場所　支笏湖 ポロピナイキャンプ場（一番札幌側のキャンプ場です）
◎日時　７月１２日午後１時００分～１３日１２時００分
7／12
昼の部：初心者カナディアンカヌー体験スクールなど
夜の部：「羊の丸焼きオンデマンド」「星空のマルチメディア講演会」「マルチメディア映画会」など
7／13
午前：「モバイルデジタル押し花オリエンテーリング」
昼頃解散
■参加費
大人 2000 円、学生 1000 円、高校生以下無料
申し込みは、事務局青柳・吉田まで！
aoyagi@hokkaido-np.co.jp、yoshida@hokkaido-np.co.jp
011-210-5506
詳細は、NCF ネイチャーワーキンググループのホームページにもあります。http://ncf.oroppas.or.jp/wg/nature/MMM_Camp.html

お誘いその２ POEM へのお誘い！

ACE の夏のお祭り「POEM'97」が１カ月後に迫ってきました。支部会員の皆さんには、すでにご案内が届いているかと思います。参加を考えてらっしゃる方、申し込みはまだ間に合います！去年は最先端の稚内まで、全国から集まってもらいました。今年はその恩返しも兼ねて、北海道から大挙して乗り込みましょう！神戸の本部へ申し込みをするのが基本ですが、北海道支部でもオッケーです。電話してね！

＜ＰＯＥＭ'97 開催要項＞
■開催地
ＡＴＣ（アジア太平洋トレードセンター）
〒559　大阪市住之江区南港北 2-1-10
■開催日程
１９９７年８月２日（土）～８月３日（日）
■主催
教育とコンピュータ利用研究会（ＡＣＥ）
■特別協賛
アップルコンピュータ株式会社
■対象
学校教育関係者、企業教育関係者、一般の人（子ども～大人）
■参加費
500 円（懇親会参加費用別）
■開催内容
プレゼンテーションコンテスト「工房対決」（作品企画、参加者募集中！）、海外（タイ）との交流事業の発表、子どものじんち、企業展示等

こちらもホームページがあります。
http://www.ace.or.jp/poem/index.html

COTF 会議の顛末@札幌

事務局　吉田

ひょんなことから COTF とがっちり縁が出来てしまいました。

４月に札幌で NASA Classroom Of The Future「未来の教室」の講演会を実施したのがきっかけで、道都大学から由水、野口両先生がアメリカに COTF の施設を見学することになりました。一度資金力と技術力の違いを痛いほど見せつけられた COTF に逆に一泡吹かせようと企画したのが今回のインターネット会議。

最初は向こうが乗ってくるかどうかいまいち不安な部分がありましたが、CU-SeeMe による会議を持ちかけたところ、COTF は Enhanced CU-SeeMeの25ユーザー入れるリフレクタをあっと言う間に上げてしまいました。またしても資金力の違いを見せつけられる我々でしたが、逆にもう引き下がれません。入念なスケジュールを建て、数回の打ち合わせの後、初回のテストをネットワークプラザにて行いました。

しかしながら、最初の試験はどうも準備不足がたたって上手くいかず、結局野口先生の PHS32k でやってる始末。

このままではまた敗北してしまうという危惧から、いきなり会場を変更し、IIJ 札幌支店さんの会議スペースと回線をお借りすることにしてしまいました。

つながんね～よ～の図。

一抹の不安を抱きながらお二人が旅立ったあと、札幌に残った我々も必死で設定を行い、いろいろと IIJ の方々にご迷惑をかけつつもなんとか Mac と Win の２台でテレビ会議システムを構築。画像のやりとりは CU-SeeMe と RealPrayer で上手くいくようになったのですが、音声のやりとりが上手くいきません。国際電話のバックアップを用意するという屈辱的な部分も残しながら、本番を前にしました。

時差の関係から本番は午後10時開始。現地時間は午前9時です。

札幌の会場には元々のきっかけと今回の交渉ごとをお手伝い下さった社会教育総合センターの桜庭さんをはじめとしてNCF、ACEの面々が続々と集まってきます。道新の取材も来て、一見ぐじゃぐじゃの状態から会議は始まりました。

結局Win機からは音声を送ることが出来ず、Macでやっとつながった状態。音声は圧縮・伸張の都合からか、7～8秒の遅れを経て相手に届くようです。そんな中で、ふつうのやりとりはCU-SeeMe、プレゼンテーションはRealPrayerと巧みに使い分けた説明でCOTFの様々な施設の紹介が行われました。画面の中のお二人もお元気な様子。無事に1時間の会談を終えることが出来ました。

COTFにとっても海外とのインターネット会議ははじめての試みだそうで、彼らにとってもいろいろな意味で成果となったそうです。

この間、リフレクタを介して全道の皆さんにアクセスしていただき、この活動を支持していただきました。

COTF自体の詳細はhttp://www.netfarm.or.jp/~nogu/Lab/nasacotf/outline.htmlに詳しいものがアップされています。このレターでも詳細なご報告が寄稿されるでしょう。多分。

また、NCF`97の21世紀教育WGのなかにCOTFプロジェクトが独立して立ち上がりました。http://www.ncf.or.jp/project/cotf/index.htmlをご参照下さい。

秋にはまた一つアップグレードした会議を行う予定です。皆さん宜しくお願いします。

モバイル実験小説「BUG～バグ」（中編）

森田　素生

数日後、自宅にドアホンの呼びだし音が鳴り響いた。私の向かっていたデスクトップパソコンのディスプレイに小型CCDカメラが捕らえた訪問者の画像が移し出された。冴えない中年の小男と間抜け面の若い男が立っていた。余裕ありげな中年男と不安げな青年が好対称だった。

「どちら様ですか？御名前と御用件をおっしゃってください」

自慢の自動応答システムが来客に対応する。さあ、何者か名を名乗れ。

「あーすいません、警察の者ですが。ちょっとお話しを･･･」

警察！？一体なんの用だ。まあ、慌てる必要はない。落ち着いた対応を見せなければ。

「警察手帳を見せて貰えますか。そう、ドアホンカメラの前にです。･･･はい、分かりました。お話しを伺いましょう。中にお入りください」

私がパソコンのキーを叩くと玄関の電子錠が外れた。ふたりの警官が入って来た。

「どの様な話しですか、刑事さん」

「えー話しというのはですね、あなたが以前付き合っていたこの写真の女性に付いてのことなんですよ。覚えていますか？」

「ええ。しかしバーで知り合ってカラオケに行った程度ですよ。付き合ったというのは言い過ぎですよ」

「じゃ、そういう事にしておきましょうか。あなたはこの女性が殺されたというのはご存じですか」

「ええ、まあ。こういう趣味があると情報は豊富に手に入りますのでね」

私は背後のパソコンを指差した。電子新聞にパソコン通信、インターネットのニュースグループ、各新聞社のホームページと情報源には事欠かない。

「では早速ですが、あなたは7月25日の12時30分頃何処にいて何をしていましたか？参考までにお聞かせ願いたいのですが」

「ほう、アリバイ調べですか。いいですよ。ええと･･･その日は部長の娘さんとデートしていましたね。彼女も証言してくれるはずだし、このPASSカード(1)に当日の行動記録が残されていますよ」

私はノートパソコンを操りながら答えた。完全に親しいとはいえない人間と機械の証言、まったくもって完璧だ。刑事の前にかざしたPASSカードにはすべての乗降記録が残っている。最新鋭の非接触型ICカードの記録をいじることは困難だ。立派なアリバイといえる。もちろん他の人間に使ってもらってその記録を手にいれることも可能だが、身分証明になるICカードを人に渡すことはあり得ない。他の証言の裏付けになるだろう。

「ちょうどその時間には彼女と待ち合わせをしていました。12時30分、銀の鈴の前です。事件現場からはどう急いでも1時間近く掛かるはずですね。
私には犯行は不可能ですよ」

「そうですか。とすると、あなたはその時間東京駅で待ち合わせをしていたと
おっしゃるんですな」

中年の刑事が不敵な微笑みを浮かべた。少々不安に駆られる。

「ええ。その通りです。何か問題が？」

「いえ。ところでですね、彼女の部屋の通話記録を調べた所、12時10分頃に東京駅構内のISDN公衆電話から通話が入っていましてね。君、なぜ逆探知もせずにこんな事が分かるか知っているかね？」

突然会話をふられた若い刑事は慌てているようだ。

「い、いえ、知りません。そう言えば不思議ですね」

「ISDN回線には発信者番号表示機能が付いているからだよ。それはいいとして、その電話はただの音声のみの電話ではなく、データ通信も一緒に行われていたのですよ」

著者近影

再び話しが私にふられる。何が言いたいのだ？この男は。

「それがどうかしましたか。私がかけたと言いたいんですか」

「そのころあなたは何をしていましたか？ご参考までにお聞きしたいのですが」

「喫茶店の中にでも居たでしょう」

「それは不思議ですねぇ。あなたが電話をかけているのが目撃されているのですが」

「時間までしっかりと特定されているとはすごいですねぇ」

そう私は皮肉を言った。しかし、意外な言葉で返された。

「それは当然ですよ。清掃ロボットのカメラ映像ですから」

「確かデジタルカメラの映像に証拠能力はない(2)との最高裁判決が降りているはずだが」

「突然そこまで言い出しますか。残念ながら訴訟対策にアナログのビデオテープにも記録していたのですよ。長時間録画のために粒子が粗くなっていますが、確かにあなたは電話をかけています。どこへお掛けになっていたかできたら教えていただきたいのですが」

「ハローダイヤルですよ、刑事さん」
私は嘘でかわそうとした。が、残念ながら失敗した。
「その時間、あの電話機からの発信先はただ一つ、被害者の部屋の電話です。うそを言ってもらっては困りますなぁ」
私は沈黙した。
「確かに彼女の家に電話をかけたことを認めますか？」
黙ってうなずくしかなかった。そう、それしか選択肢は存在しなかったのだ。　（次号解決編！）

-----（森田君本人の解説付き）-----

(1)PASS カード
オリジナル設定です。既に実用化のめどが立っているので登場させました。JR 東日本が実用試験を始めるそうです。非接触型ＩＣカードということで、鞄の中に入れたままで自動改札を通ることのできる優れ物。電子マネー機能を持たせる計画もあります。

(2)デジタルカメラに証拠能力がない
なぜならパソコン上でいくらでも手を加えることが可能だから。ドット単位で修正できるので偽造写真を見分けることは不可能だといわれます。

ACE お知らせ！

アジア新街道１８０００キロの旅をあなたに！
北海道新聞社５００円で ACE 会員に特別販売いたします。
希望者は、今すぐ ACE 北海道支部事務局 011-210-5506（青柳）まで！

編集後記

最近イベント目白押し。取りあえず直近のモバイルマルチメディアキャンプに向けて準備を整えています。なんせキャンプは４年ぶり、道具も何も腐ってるのではないか、心配です。はしっこで目立たなくスパゲッティでも作ってようかな。
さて、最近注目のツールといえば Adobe Acrobat3.0J。さっそく入手して悪戯してみていますが、手軽だけど手強いというのが第一印象。高瀬先生が先日レターで書かれていた PDF のメーリングリストに加入して少しずつ勉強をしているところです。それにしても劇的に減るファイルサイズ。Web のみならず、フロッピーベースのデータのやりとりにも使える道があることを確信したわけです。このレターも Web に上げていこうと思っているところですが、行き届かないところがあったらお許し下さい。　（吉田）

千歳からのこのことやってきました。みんなお仕事をしているのに、ひとりぼけーっとしています。仕事は封筒に入れることぐらいしかできません。でも働いているつもりになっています。修学旅行も終わって、７月は成績の季節。ダッシュで終わらせて、MMM キャンプ、POEM を楽しもうと？（苦しみ？）思っています。　（半澤）

修学旅行も無事に終わり、一息つく間もなく中体連を迎えようとしています。。おっとその直後に楽しい MMM キャンプがあったか。それが終わると通知表を書き、やっと夏休みを迎えます。全国国際理解教育・帰国子女教育研究大会のため釧路に向かい、馬車馬のようにその後一路大阪へ。“ POEM'97 ” です。なんだかとっても忙しくて体がいくつあっても足りない感じです。僕にも秘書が必要なようです。頼むどんぐり@塩谷さん、僕にも一人秘書を回してくれ〜！
それと、http://www.tamiya.com はいける！おすすめだ！是非とも一度ご覧下さい。　（荒島）

今月も COTF とのインターネット会議、千歳 CMMIC（なつかしいな〜）での研究会、高校 DTP 新聞講習会 ... などなど、てんこ盛りの「教育強化月間」で、僕は最近自分の業種が教育です、と思わず言ってしまいそうになります。と感じたのもつかの間、７月は MMM キャンプ、８月に入って POEM、帰ってすぐ今度は先生たち向けの DTP 講習会、一方では稚内北星のサマースクール（行けないの。ごめんなさい！）と、これはもう「教育特訓月間」へとのめり込んでいくのです。回り続けないと倒れてしまうコマのように、泳ぎ続けないと死んでしまうサメのように、しゃべり続けないと死んでしまうさんまのように、がんばり続けましょう。団結がんばろう。　（青柳）

先日の新聞部支部研究会で思ったこと。体育系にしろ文化系にしろ学校や個人の勝敗を競う大会が多い中、高校生同士が学校、学年の垣根を超えて、共同で一つの物を作り上げていく姿に感動した。１０月の道大会でも、全道の高校生の新たな交流が生まれることだろう。　（高瀬）

UNIX でも Win/NT4.0 でも、他のソフトを使っても、DNS サーバも WWW サーバも、Mail サーバにしても結局は同じ仕事をしているんだから、同じ設定項目なはずなんだ。
Win/NT4.0 で北星短大のインターネットサーバを構築するのに、随分と苦労したものだ。設定画面が GUI になったから簡単になったと思ったんだけど・・・。そんで、ついに最も簡単なサーバソフト群に出会うことができた。それは、マックである。これなら、インターネット関係の雑誌のおまけの CD からコピーして、ソフトをダブルクリックした瞬間にもうできているのだ。アメリカのパーソナルサーバの半分以上がマックだそうだ。わかるような気がする。　（武田）

教育とコンピュータ利用研究会北海道支部
1997 年 6 月 30 日発行